

農大だより

発行日：令和元年9月15日
 発行：岐阜県農業大学校
 可児市坂戸938
 Tel：0574-62-1226
 Fax：0574-62-1227

◇目次◇

- ★農業・園芸・林業体験ツアーを開催しました
- ★令和元年度オープンキャンパス・緑の学園を開催しました
- ★学生が取り組んでいるプロジェクト課題紹介
- ★東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会 結果 ★資格取得に取り組んでいます
- ★農大トピックス～農大祭開催・令和2年度学生募集～



農業・園芸・林業体験ツアーを開催しました

8月17日、本校と国際園芸アカデミー、森林文化アカデミーの3校が連携して、小・中学生に農業・園芸・林業を体験してもらうツアーを開催しました。農業大学校では、枝豆、トウモロコシの収穫、梨の糖度調査、クイズラリーを企画し、小中学生38名の参加がありました。暑さに疲れがみえながらも参加した小中学生の表情は明るく、「楽しく体験できました」との感想もあり、農大の魅力を感じてもらえたツアーとなりました。



<枝豆収穫体験の様子>

令和元年度 オープンキャンパス・緑の学園を開催しました

【オープンキャンパス】

夏休み期間中の7月、8月の2回、本校への進学を考えている高校生等を対象にオープンキャンパスを開催しました。

今年は1、2年生の参加が多かったのが特徴的でした。暑い中、作業体験を積極的かつ楽しそうに行う生徒さんが印象に残りました。

【緑の学園】 高校2年生を対象に、農業への興味、関心を深めてもらうため、8月1日に開催しました。今年度は「野菜」「果樹」「花き」の3コースで実施し、16名の参加がありました。

参加した生徒さんからは、「学生の方がとてもやさしく教えてくれました。自分で考え、行動している学生の方はすごいと思いました」「農家さんのリアルな声を聞くことができ、とても勉強になりました」といった感想がよせられました。



<オープンキャンパス 左:播種体験 右:施設見学の様子>

<緑の学園 柿の袋かけ作業体験の様子>

学生が取り組んでいるプロジェクト課題紹介

大果で良食味なイチゴづくり

野菜・果樹学科 大島邦英人



県内には「美人姫」というブランド名の特大イチゴを生産される農家の方がみえますが、農大ではこれに負けないくらい大粒でおいしいイチゴを生産しようというプロジェクトに取り組みました。摘果や温度管理、施肥に工夫を凝らした結果、品種「濃姫」で目標の80gには届きませんでした。最大で62gの果実を収穫することができました。

農大における害獣の調査と簡易な対策の実用性

野菜・果樹学科 小林良治



農大のもも園やかき園では、ここ数年、鳥獣害による被害により、廃棄率が高く、収量が減少しています。そこで、もも園へのカメラの設置により鳥獣の動向を調査するとともに、防護ネット、電柵、有刺鉄板、テグスを組み合わせ、安価な素材で対策ができないかを検討するための試験区を設置し、課題解決に取り組んでいます。

カリウム葉面散布とかん水量の違いによる葉先枯れの減少

野菜・果樹学科 柿風舞希



トマト栽培では葉先枯れ症の発生が問題となっており、枯死した葉が灰色かび病の発生源になりやすく、葉中のカリウム欠乏が主な原因として考えられています。そこで、吸収効率の高いカリウムの葉面散布やかん水量を変えることにより、葉先枯れがどれくらい抑制できるか、現在、夏秋トマトで調査しています。

トウモロコシと大麦給与による脂の変化

畜産学科 武知祐里佳



肥育牛の餌の違いによる、牛肉の脂肪の質の変化について比較しました。3頭の試験牛はすべて出荷が終わり、A3～A5の格付けとなり飛騨牛として認定されました。8月には3頭の肉を食べ比べ、脂の違いを畜産学科の学生全員で味わいました。今後、オレイン酸を中心に脂肪酸組成の分析などを行います。

かぼちゃの「グランドマーク」をつけない栽培方法

野菜・果樹学科 川本千佳子



「グランドマーク」とは、実が地面に接して緑色に色づかない部分のことを言います。回避する方法として立ち作り栽培があり、グランドマークの発生状況や収益性について、地這い栽培との比較実証を行っています。昨秋には冬至用かぼちゃを収穫しました。ハウスの中を、2～3kg級のかぼちゃがぶら下がっている姿はインパクトありますよ。

モネンシン添加の有無による育成牛の発育

畜産学科 栗谷朱里



和牛の育成子牛へのモネンシン添加の有無、餌の切り替え回数による発育の違いを比較しました。試験牛の4頭とも標準発育を上回り順調に発育していますが、コクシジウム症による下痢が何回か見られ発育が落ちることもありました。今後、発育と餌の関係を詳しく分析し、農大に合った給与メニューを考えていきます。

東海近畿地区農業大学校スポーツ大会 結果

5月30日、31日の2日間、三重県の「県営サンアリーナ」にて今年度の標記スポーツ大会が開催されました。本校学生54名は、以下のような結果を残すことができました。

卓球部



バドミントン部

順位	種目	選手名
優勝	卓球(団体)	板倉一竜、杉山奈々美、大竹一輝、扇本紗弥、長谷川巧
	卓球(個人)シングルス女子	杉山奈々美
	バドミントン(個人)シングルス女子	北瀬晴果
準優勝	テニス(個人)シングルス男子	川端悠斗
	バドミントン(個人)ダブルス女子	栗谷朱里、橋詰実佑
3位	野球	
	卓球(個人)ダブルス女子	牧坂みずほ、南野那侑

資格取得に取り組んでいます

学生たちは、2年間の在学中に資格・免許の取得に励んでいます。今年度、上半期に実施した資格について紹介します。

刈払機取扱作業者 安全衛生教育

4月に1学生全員が受講しました。雨天のため実技は体育館で行いました。



小型車両系建設機械(整地等)特別教育

6月に希望者17名が受講しました。講師の指示に従い始めはこわごわ動かしていましたが、1日練習してかなり上達しました。



毒物劇物取扱者

8月に実施される試験に向けて、夏休み期間中に対策講座を実施しました。



家畜人工授精師 養成講習会

今年度講座が開催され、畜産学科の1、2学年生20名が7～8月に受講しました。



フォークリフト 運転技能講習

7月に希望者20名が自動車学校にて受講しました。本年は、就職先で必要になる2学年生が多く受講しました。





「令和2年度 岐阜県農業大学校 学生募集」

令和2年4月の入学生を募集します。

農業大学校の入学を希望する生徒さんがいましたら、ぜひお声掛けをお願いします。

＜募集定員＞ 30名

＜募集学科＞ 野菜・果樹学科 畜産学科

＜試験日＞ 推薦入試：令和元年11月 1日(金)

一般入試：令和2年 1月17日(金)

＜入学願書受付期間＞ 推薦入試：令和元年10月 1日(火)～10月18日(金)

一般入試：令和元年12月16日(月)～令和2年1月6日(月)

＜募集要項等問い合わせ先＞ 岐阜県農業大学校 教務課

可児市坂戸938

TEL：0574-62-1226 FAX：0574-62-1227

メール：c24405@pref.gifu.lg.jp

農大祭を開催します!!

1学年生が中心となって、農大産の野菜や果実の販売、お楽しみイベント等を行います。

皆さん、お誘いあわせのうえ、ぜひご来校ください。

日時：令和元年11月3日(日)

11時～

場所：岐阜県農業大学校



＜昨年度農大祭 野菜販売の様子＞

校長のひとこと ～黄金世代～

日本の女子ゴルフでは「黄金世代」と呼ばれる1998年度生まれの選手たちが大活躍し、スマイルを貫いて全英オープンを渋野選手が制したのは記憶に新しいところです。男女ともひと昔ふた昔前は最強選手VSその他（ジャンボ尾崎、不動裕理はレジェンド?）でしたが、次々と新しい若者が優勝する構図に変わってきました。裾野の広がりとともに優秀な選手・指導者が増えたことや同世代の切磋琢磨があるでしょうが、何よりも物おじしないメンタルの強さを感じます。東京オリンピックでも新星が活躍するでしょう。同世代である2学年生も来春には社会に巣立ち、飛躍を期待しているところです。言葉使いをはじめまだまだ修行が足りないところはありますが、物おじしないところは黄金世代かも。

編集後記

今回は、学生が取り組んでいるプロジェクト課題について紹介しました。指導担当職員の助言を受けながら学生たちは「自分の課題」として真面目に取り組んでいる様子がみられます。卒論発表会を楽しみにしたいと思います。

この夏は家畜人工授精師養成講習会があり、畜産専攻学生は夏休みなしで頑張っていました。

いつもの夏はがらんとしている寮も今年にはぎやかでした。

さて、これからは1学年生が先輩から引き継いで農大の現場作業を引っ張っていく時期になります。今後の1学年生の成長も楽しみです。